

SecHack365 修了生の声



SecHack365は
「好きなことを目一杯出来る居場所」

古田 花恋さん
学習駆動コース コンテンツゼミ (2020年度修了生)

◆受講した感想を聞かせてください！

受講により技術力だけでなく、成果物の内容とそれに込めた想いを人に伝える力や、長期ハッカソンに必要な自己管理力なども身につくことができました。1年間を通して自分の作りたいものについて「なぜそれを作るのか?」「これからどうしたいのか?」といったことを、様々なバックグラウンドを持つ方々に説明する機会が多くあり、多様な意見をいただくことができます。それにより自分が本当に作りたいものとは何か深く考えることができました。受講中に学んだことは修了後の活動にも活かせるようなことばかりで、その経験が今の私を支えているように思います。

◆あなたにとって SecHack365 とは何ですか？

私にとっての SecHack365 を一言で表すと「好きなことを目一杯出来る居場所」です。受講中には自分にとって少し難しいかもしれないと思うような挑戦的なモノづくりにも、周りの方々が優しく後押ししてくれたような記憶でいっぱいです。それがとても嬉しかったです。修了後には年に1回開催される修了生イベント「SecHack365 Returns」にて、修了生とお話をすることや発表を聞くことができます。修了年度を超えて多くのトレーニーと交流ができる点も SecHack365 を修了したことの強みだと思います。

◆受講を考える人にひとこと！

「これから何かを作りたい」「何らかの課題を解決する方法を考えたい」と思っている人を SecHack365 は優しく受け入れてくれる環境だと感じています。私は勇気を出して応募して本当に良かったと思っています。



トレーニー時代のフィードバックは
今も財産に

橋本 俊甫さん
研究駆動コース (2022年度修了生)

◆受講した感想を聞かせてください！

私は研究駆動コースに属していたのですが、自分で課題を見つけるところから始める研究は SecHack365 が初めてでした。研究というものがよくわからないまま、うまく進捗や成果が出ず、苦しくて不甲斐ない思いをして、しばらく研究の面白さを理解できずにいました。それでもトレーナーやアシスタントがたくさん悩んで彷徨っている自分をいつも温かくサポートしてくださいました。次に繋げていく形で修了することができました。今ではトレーニー時代のコースワークの資料や論文を読んだメモ、濃密で示唆に富んだたくさんのフィードバックが財産になっています。当時のメモを日々振り返って何年もかけてじっくりと噛み締めていきたいです。

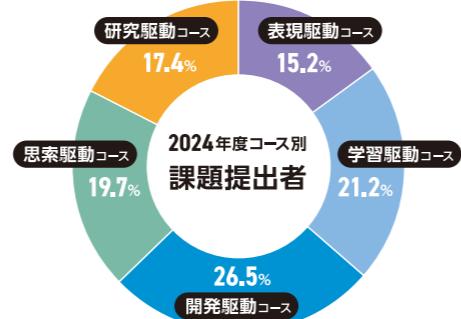
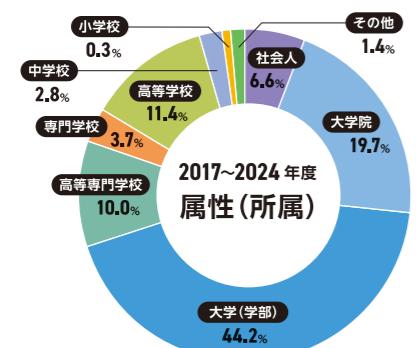
◆あなたにとって SecHack365 とは何ですか？

私にとって SecHack365 はとても居心地の良い、希望的なコミュニティです。SecHack365 では、トレーニーがやりたいと思うことに日本の最前線を走るトレーナーが温かくサポートしてくれます。自分が好きだと思ったことを好きだと胸を張って言うのはなんだか自信がなくなってしまうのですが、勇気を出して伝えてみると、SecHack365 の人はわかつてくれるのです。自分の内に秘めていたものをわかつてくれる人がいると心から嬉しいものです。トレーニーの持つ世界観に対して作品作りを通じたポジティブなフィードバックを回して、何かしらの価値や希望を見出していくところに希望的な環境を感じます。

◆受講を考える人にひとこと！

SecHack365 に参加できるかどうかはトレーナーが判断するものなので、「自分にはまだ早い」とあなたの自身が決めつけるものではありません。応募時点のあなたができる最大限の想いを込めて応募してください。

受講生データ



SecHack365 募集概要

応募資格：日本国内に居住する25歳以下の方
募集人数：40名程度
募集期間：4月中旬ごろ
結果通知：5月末

25歳以下は受講・指導費用は無料

学生*及び収入の無い方は、集合イベントを実施する場合の交通費・宿泊費等の実費相当分を補助します。社会人の場合は交通費・宿泊費等は補助対象外になります。

* 学生とは学校教育法に規定される学校に在籍する方が対象になります。

お問い合わせ

国立研究開発法人情報通信研究機構 サイバーセキュリティ研究所
ナショナルサイバートレーニングセンター SecHack365事務局

✉ sechack365@ml.nict.go.jp
🌐 https://sechack365.nict.go.jp/

𝕏 @SecHack365



SecHack365

SECURITY + HACKATHON 365 DAYS

目指せ! セキュリティ イノベーター

キミの365日が未来を変える

25歳
以下対象

SecHack365
公式サイトをチェック▶
🔍 セックハック



次世代のサイバーセキュリティを担う
若手セキュリティイノベーター育成プログラム

磨く—「技術」

一線級の研究者・
技術者による指導

築く—「経験」

他にはない
365日のモノづくり

作る—「仲間」

全国から集まった
仲間との時間

SecHack365の特徴

SecHack365 とは、“SECURITY + HACKATHON 365 DAYS”を意味する名称で、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)主催の25歳以下を対象とした長期ハッカソンです。

SecHack365では、他にはない365日の長期ハッカソンによるモノづくりの機会を提供することで、「セキュリティイノベーター」としてセキュリティの様々な課題にアイデアで切り込める人材の育成を目指しています。

受講生はトレーニーとして、大学や企業など様々な分野で活躍するトレーナーから、継続力や発想力、アイデア、倫理・法律といった多様な観点での指導を受けながら、モノづくりに取り組みます。

トレーニー同士作品を見せ合うことで切磋琢磨し、ひたすら「作る→見せる→意見をもらう」を繰り返しながら、一人では開発しえなかった作品を作り上げていきます。



複数回の集合イベント

アイデアソン・ハッカソンのイベントを年間複数回、オンラインとオフラインで開催することで、継続的に開発を進めます。



学生向け支援

学生は集合の際の必要経費を全額補助^{*}。学業との両立についての相談や進路相談も可能です。
※ 学生・収入がない方は旅費宿泊費等の実費相当分全額補助



NICT ならでは

サイバーセキュリティの研究開発のノウハウや、実際の貴重な攻撃データ等を活用できる“NONSTOP”が利用可能。



多様な講義とオンラインの活用

倫理・法律をはじめオンラインコンテンツも活用。遠隔でもチャットやタスク管理ツールを使いコミュニケーションスキルや知識を習得。



最先端技術の体験

先端企業の見学による社会体験で発想力を強化。ゲスト講演者からプレゼンテーションスキルや知識を習得。

SecHack365の365日

2024年度の例



修了後の コミュニティ・活動支援

- 年に1度の修了生イベント開催
- アシスタントとして指導・イベント参加
- 修了生招待としてイベント招待
- 成果の発表機会を提供
- デジタルバッジ付与



トレーナー長からの メッセージ

横山 輝明
(情報通信研究機構)

SecHack365 では、1年かけてセキュリティに関連する作品制作に取り組むことで、新たな技術を生み出し、社会に届ける力を身につけることができます。40名の仲間と専門家のトレーナーたちとの協創にぜひご参加ください！

SecHack365 の
トレーナー陣は
こちらでチェック！



コース紹介

表現駆動 コース

アイデアを形にする過程で、その価値を最大化しサービスを磨き上げるコース

多様性をキーワードにグループでイノベーション実現を目指します。サービスを公開しフィードバックを得ながら新たな価値を与えるメソッドを学びます。

どんな人に向いてる?
解決したい課題があり、グループでイノベーションを起こしたい人

20人以上の多様なトレーナー陣により構成されたコースを設定。

コースの特徴に合わせて、作りたいものやアイデアをじっくり1年間かけて形にしていきます。
コースワークはオンラインを中心とした任意参加で、学業や仕事の都合に合わせて参加が可能です。

学習駆動 コース

興味ある技術や作りたいものに対して付加的な学習をしながら開発するコース

作りたいものをどんどん作っていき、開発の際にあえて他の技術や分野の学習を付加的に行うことで、ものづくりの幅をさらに広げます。

どんな人に向いてる?
作りたいものがある、自力で自律的に作り始めることができる人

開発駆動 コース

まずは開発してその後で検証して、改良を繰り返していくコース

定まった開発テーマ・分野において、まず作ってみてから考えていきます。作ってわかることや気づきを得ながら、セキュリティの問題解決に取り組みます。

どんな人に向いてる?
プログラミングが大好きで、作りたいものを自力で作れる人

思索駆動 コース

思索を通じて問題を深掘りしたうえで開発し、問題解決を行うコース

日常に遍在する違和感や自己の立ち向かいたい問題についてひたすら深く思索します。十分な思索に基づいた開発により、問題解決に取り組みます。

どんな人に向いてる?
何よりも考え方論してどんどん思索の深みにはまれる人

研究駆動 コース

研究的プロセスに基づいたアイデア、仮説立案と検証評価を重視したコース

既存研究の調査を徹底して行い、問題の解決手法を提案します。研究プロセスを明確にするための議論を行なながら、研究へのモチベーションを高めます。

どんな人に向いてる?
アイデアや、やりたいことがある人、論文・研究発表したい人

01

02

03

04

05